【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2010-50813(P2010-50813A)
【公開日】平成22年3月4日(2010.3.4)
【年通号数】公開・登録公報2010-009
【出願番号】特願2008-214103(P2008-214103)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/907　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　F
Ｈ０４Ｎ　5/907　B
Ｈ０４Ｎ　5/76　Z

【手続補正書】
【提出日】平成23年8月12日(2011.8.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能とを備える撮像装置において、
前記固定時間撮影機能が有効になっている場合は前記プリＲＥＣ機能の選択を禁止し、前記プリＲＥＣ機能が有効になっている場合は前記固定時間撮影機能の選択を禁止するように制御する制御手段を備えることを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能とを備える撮像装置において、
前記固定時間撮影機能が有効になっているときに前記プリＲＥＣ機能が有効になるように選択されると前記固定時間撮影機能を無効とし、前記プリＲＥＣ機能が有効になっているときに前記固定時間撮影機能が有効になるように選択されると前記プリＲＥＣ機能を無効とするように制御する制御手段を備えることを特徴とする撮像装置。
【請求項３】
撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能と、第１のプリＲＥＣ実行時間と、前記第１のプリＲＥＣ実行時間よりも短く、かつ前記固定時間撮影機能の撮影時間よりも短い第２のプリＲＥＣ実行時間とを備える撮像装置において、
前記プリＲＥＣ機能のみ有効の際は前記第１のプリＲＥＣ実行時間で撮影し、前記プリＲＥＣ機能及び前記固定時間撮影機能の双方が有効の際は前記第２のプリＲＥＣ実行時間

で撮影を行うよう制御する制御手段を備えることを特徴とする撮像装置。
【請求項４】
撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能と、前記固定時間撮影機能の撮影時間よりも短い第１のプリＲＥＣ実行時間と、前記第１のプリＲＥＣ実行時間よりも短い第２のプリＲＥＣ実行時間とを備える撮像装置において、
前記プリＲＥＣ機能及び前記固定時間撮影機能の双方が有効の際であって、前記固定時間撮影機能の撮影時間が任意の時間以上であれば、前記第１のプリＲＥＣ実行時間でプリＲＥＣを実行し、前記固定時間撮影機能の撮影時間が任意の時間未満であれば、前記第２のプリＲＥＣ実行時間でプリＲＥＣを実行するよう制御する制御手段を備えることを特徴とする撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するために、請求項１記載の撮像装置は、撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能とを備える撮像装置において、前記固定時間撮影機能が有効になっている場合は前記プリＲＥＣ機能の選択を禁止し、前記プリＲＥＣ機能が有効になっている場合は前記固定時間撮影機能の選択を禁止するように制御する制御手段を備えることを特徴とする。
請求項２記載の撮像装置は、撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能とを備える撮像装置において、前記固定時間撮影機能が有効になっているときに前記プリＲＥＣ機能が有効になるように選択されると前記固定時間撮影機能を無効とし、前記プリＲＥＣ機能が有効になっているときに前記固定時間撮影機能が有効になるように選択されると前記プリＲＥＣ機能を無効とするように制御する制御手段を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項３記載の撮像装置は、撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能と、第１のプリＲＥＣ実行時間と、前記第１のプリＲＥＣ実行時間よりも短く、かつ前記固定時間撮影機能の撮影時間よりも短い第２のプリＲＥＣ実行時間とを備える撮像装置において、前記プリＲＥＣ機能のみ有効の際は前記第１のプリＲＥＣ実行時間で撮影し、前記プリＲＥＣ機能及び前記固定時間撮影機能の双方が有効の際は前記第２のプリＲＥＣ実行時間で撮影を行うよう制御する制御手段を備えることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項４記載の撮像装置は、撮影画像の記録開始から固定時間経過後に自動的に記録を終了する固定時間撮影機能と、記録停止中に前記撮影画像をバッファリングしておき、記録が開始された際にバッファリングしていた前記撮影画像を所定時間記録するプリＲＥＣ機能と、前記固定時間撮影機能の撮影時間よりも短い第１のプリＲＥＣ実行時間と、前記第１のプリＲＥＣ実行時間よりも短い第２のプリＲＥＣ実行時間とを備える撮像装置において、前記プリＲＥＣ機能及び前記固定時間撮影機能の双方が有効の際であって、前記固定時間撮影機能の撮影時間が任意の時間以上であれば、前記第１のプリＲＥＣ実行時間でプリＲＥＣを実行し、前記固定時間撮影機能の撮影時間が任意の時間未満であれば、前記第２のプリＲＥＣ実行時間でプリＲＥＣを実行するよう制御する制御手段を備えることを特徴とする。